

[第 14 回] けんせつフェア北陸 in 富山 2019



令和元年 10 月 2 日(水)と 3 日(木)の両日、富山市の富山産業展示館において富山県内で初めてとなる「けんせつフェア北陸 in 富山 2019」が開催されました。

本フェアは、産・学・官の優れた建設技術を一堂に集め、建設技術者の技術の研鑽・高揚並びに技術情報の交流の場とすることで、建設技術の一層の高度化、広範囲な技術開発の促進を図り、新技術・新工法の積極的な活用促進、建設技術を活かした地域づくりや担い手確保に繋がる広報を目的に開催しました。

主催は「北陸地方建設事業推進協議会」を母体とした官民の 26 機関で構成する実行委員会で、平成 5 年から 2 年に 1 回開催してきており、今回で 14 回目となりました。

『次世代へ、イノベーションをもたらし建設技術』のキャッチフレーズを踏まえて、「ICT 特設展示場」を設けて「みて、ふれて、知る」に沿い、実演・体験による ICT 関連技術を紹介し、151 機関から 355 技術の展示および 47 団体・企業のプレゼンテーションが行われました。

前回に引き続き、担い手確保のための情報発信として学生のための「合同企業セミナー」が設けられ、約 340 名の学生が参加されました。「屋外展示場・ICT 特設展示場」では台風 18 号による風の影響により 3 日午後の展示が中止となりましたが、約 4,600 名の来場がありました。

オープニングセレモニー

初日午前9時30分から西館ホワイエにてオープニングセレモニーを行いました。

「けんせつフェア北陸 in 富山 2019」の実行委員長を務める北陸地方整備局 内藤企画部長の開会宣言の後、北陸地方整備局長が開会挨拶を述べ、続いて本省総合政策局 森戸公共事業企画調整課長より祝辞を頂きました。

その後、来賓・主催者14名によるテープカットで2日間のけんせつフェアが幕を開けました。



<開会宣言>
「けんせつフェア北陸 in 富山 2019」
実行委員長
北陸地方整備局企画部長
内藤 正彦



<開会挨拶>
北陸地方建設事業推進協議会会長
北陸地方整備局長
吉岡 幹夫



<来賓挨拶>
国土交通省 総合政策局
公共事業企画調整課長
森戸 義貴



オープニングセレモニー



テープカット

出展技術

各社の出展ブースではパネルの他、実物や模型などによる実演・体験による新技術等について、来場者はもとより、出展者同士でも活発な意見交換がなされていました。



展示技術プレゼンテーション

出展技術を詳細に理解して頂くため、出展者によるプレゼンテーション(47 技術)を実施しました。



学校招待・合同企業セミナー

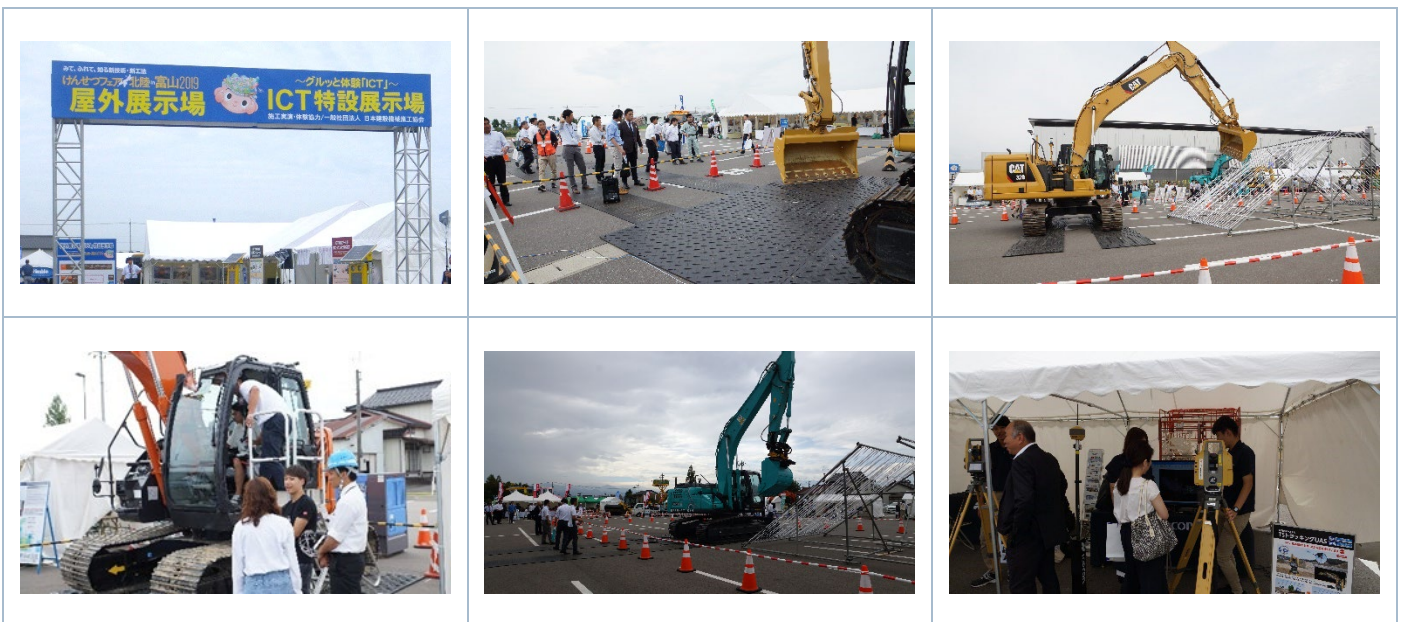
富山・石川県内の大学、高専、高校の学生が2日間で約780名が来場し、熱心に各展示ブースを見学されていました。

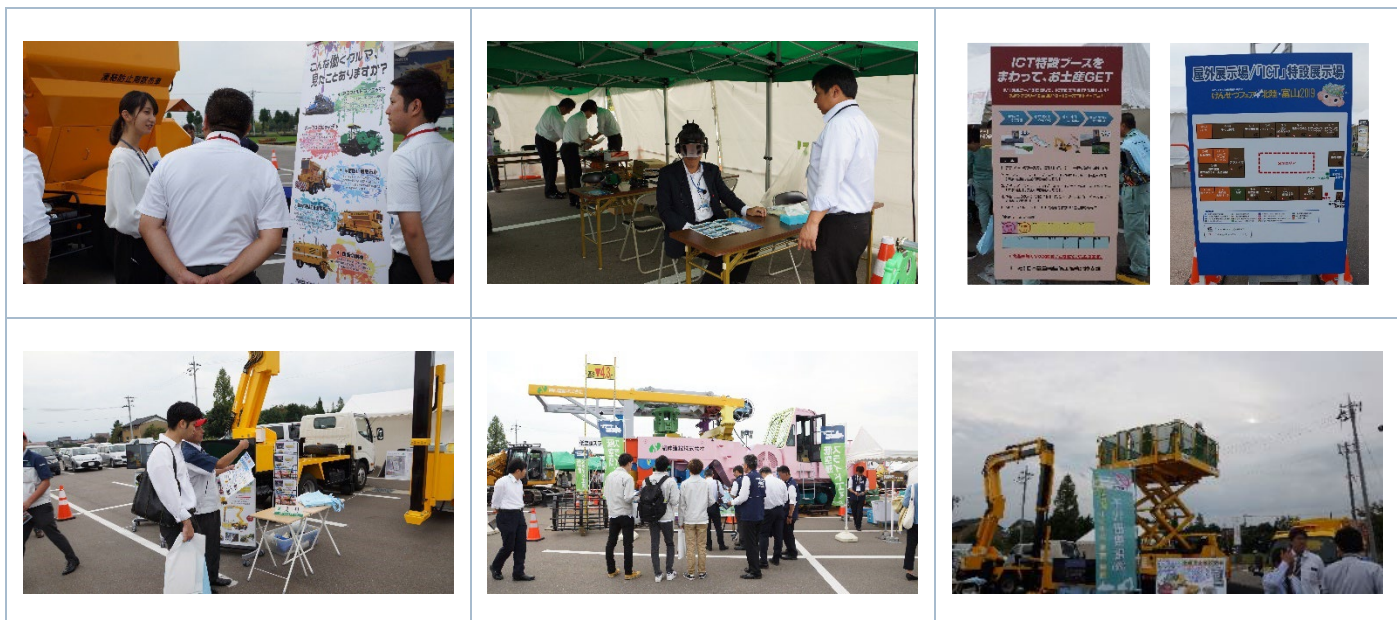
学校招待で来場された学生のうち、320名が「合同企業セミナー」に参加され、「進路や就職先の選択に参考になった」などの意見があり、担い手確保の一環としての成果が感じ取れました。



「ICT 特設展示」 ～ グルッと体験「ICT」～

本フェアのキャッチフレーズ「次世代へ、イノベーションをもたらす 建設技術」を踏まえ、屋外に実演・体験型のICT関連特設展示会場を設けて、UAVによるデモンストレーションや建設機械のマシンコントロール・マシンガイダンスなどの実演が行われ、多くの来場者が訪れていました。





同時開催イベント 令和元年度「建設技術報告会」

令和元年度「建設技術報告会」は同時開催イベントとして、10月2日(水)と3日(木)に東館 大展示場にて開催されました。宇宙航空研究開発機構 富井直弥氏の基調講演から始まり25技術の発表が行われ、764人(2日間延べ人数)が聴講しました。

おわりに

今回のフェアが今後の新技術・新工法の普及と地域を支える建設事業への理解がより一層深まることと建設業界の担い手確保の一助となることを期待するとともに、本フェアの出展者をはじめ、開催にあたりご指導・ご協力を賜りました関係各位ならびにご来場頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。

「けんせつフェア北陸 in 富山 2019」実行委員会 事務局